

MS34 ミニセンサー撮影器



特徴:

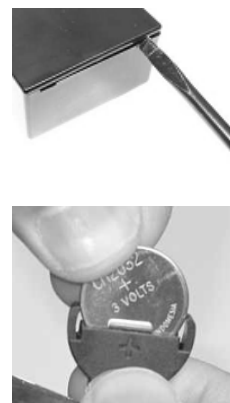
超小型パッケージに収めたセンサー自動撮影器です。小型軽量のため、カメラ周辺や三脚などに装着して使用できます。装着は両面粘着テープやマジックテープなどで固定できます。センサーは省電力型焦電タイプ使用。動体を検出するとデジタルカメラにシャッター信号を送り自動撮影が可能なデジカメ自動撮影装置です。

カメラのリモコン（リモートリリース）端子を利用して簡単に自動撮影ができます。

電池の装着:

電池はCR2032電池を使用します。出荷時はCR2032電池を装着してあります。電源スイッチはありません。センサーが検出場合のみ本器電源はONになり、検出しない状態では電源は自動的にOFFになります。したがって電源スイッチはありません。使用しないときはケースなどに入れ、センサーが検出しない状態にしておくと電池の消耗を抑えることができます。電池交換はケースの下部にマイナスドライバーの入る凹みが2箇所あります。ここにマイナスドライバーの先を入れ、ゆっくりと外側を上げるようにひねり開けます。

電池ホルダーはケースに密着していますが、ゆっくりと取り出してください。電池は右図のように電池ホルダーと電池をつまんで引き出します。電池の装着は電池の極性+とホルダーの+マークとを合わせてホルダーに押し込みます。電池交換後は本器の正面赤LEDがセンサー検出により点滅することを確認してください。もし点滅しない場合にはすぐに電池を引き抜いて電池の+側とホルダーの+側のマークが合っていることを確認して再度電池を装着してください。電池の極性を間違えて装着すると故障することがあります。



カメラとの接続:

カメラの電源をOFFにして、リモコンジャックに本器からのプラグを挿入します（リモート端子はカメラの機種によって位置が異なります）。

カメラ側でオートパワーオフ時間を最小（30秒または1分以下）に設定します。こうすることでシャッターONになってから30秒または1分後にカメラがパワーオフになるため、カメラのバッテリー消費電流を節約でき、長時間の待機撮影が可能になります。オートパワーオフを「切り」にしても使えますがカメラの電源は常時ONになりカメラのバッテリー消費が早くなります。



使い方:

。本器をカメラの上部または側面に両面粘着テープなどで貼り固定します。本器はカメラ同様防水仕様ではありませんので濡らさないように使用してください。

。カメラのズームは広角端（ワイド）にします。望遠側にすると画角が狭くなるため殆ど映りませんのでご注意ください。

本器のコード先端のプラグをカメラのリモコン端子に本器のプラグを挿入し、カメラの電源スイッチをONにします。

■■カメラ用プラグはカメラのコネクタにしっかりと挿入してください。プラグの挿入が浅いとシャッターが切れないことがあります。■■



センサーの上下左右約90度の角度（円錐形）で最大5m（人の大きさ）の距離を横切ったり近づいたりする動体があるとセンサーが検出し、カメラのシャッターが切れます。センサーは遠赤外線（熱）を強力に反射する木の葉の揺れ、走行中の自動車なども検出します。もちろん人の動き、腕、頭などの動きも検出します。検出対象が小さくなるほど検出距離は相対的に5mより短くなります。

センサーが動体を検出するとカメラの電源が入っている状態では即シャッターが切れます。その後カメラはデータをメモリーカードに書き込むためビジー状態になり次にセンサーが検出してもシャッターが切れないこともあります。また動物の動きが速い場合や極端に遅い場合にはセンサーが検出しないことがあります。センサーを動かすと動物が居なくても検出します。

本器で使用しているセンサーはその特性上、周囲の雰囲気により検出感度が見かけ上変化します。雰囲気とは温度差のある空気の流れや背景の温度（壁や床など）が高いと感度は見かけ上下がります。また本器の電源を入れてから時間が経過するほど安定します。10秒～5分以上で安定します。その間センサーを移動すると安定までにさらに5分程度かかります。



一般的にセンサー撮影器とデジタルカメラをセットすれば動物などが必ず撮れるわけではありません。設置する場所や時間などを変えたり、狙う方向や設置方法など工夫が必要です（屋内では常に安定した撮影が可能です）。

NOTE:

- (1) センサー部に直射日光が当たらないように設置してください。直射日光が当たるとセンサーの検出する距離が短くなります。

昼間積雪の森林内では小枝の揺れによりセンサー前の明るさが頻繁に変化し、誤動作する場合があります。

周囲の気温が35℃以上になる場所ではセンサー検出距離が短くなります。

木の葉は強力な日光の遠赤外線を反射しますので日中、木の葉の揺れを検出し撮影する

場合があります。

- (2) 本器は防水仕様ではありません。防雨対策としてポリエチレンラップ、ポリエチレン系透明チャック付料理袋などをかぶせることで弱い雨なら防ぐことができます。透明のストレッチール樹脂や、ガラスはセンサーが透過しません。また厚手のポリエチレン系樹脂で覆った場合、センサー感度が下がります。
- (3) デジタルカメラを長期間（1ヶ月以上）待機させるには外部電源端子から電源を供給する（カプラーやACアダプタなど）必要があります。
- (4) 雨やしぶき、霧が流れる環境では正しく検出できないことがあります。
- (5) センサー前に円筒形状のものを付けると検出角度を狭くすることもできます。

■■本器には電源スイッチがありませんが、テレビのリモコンと同じでセンサーが検出しないときは本器の電源がオフになります。長期間使用しない場合には箱などに入れ、センサーが動作しない環境で保管してください。■■

本器は防雨構造ではありません。雨に濡れたり、湿度の高い環境に設置する場合は防雨、防湿対策をしてください。簡易的にはポリ袋、ビニール袋などを本器にかぶせるなどして防雨対策します。

主な仕様：

対応カメラ	上記記載のデジタルカメラ
センサー	低電圧型赤外線モーションセンサー
検出範囲	標準型： 水平約82度, 垂直約100度, 距離5m (投影面0.25m×0.75m)
送信信号	デジタルカメラ制御信号
表示	インジケータLED
コード長	コード約0.3m (カメラ専用プラグ付)
消費電流	待機時37μA、シャッターON時約2.7mA
電源	CR2032電池1個
寸法	50×30×20mm
質量	32グラム (電池含む)



<http://www.ne.jp/asahi/soyou/labo/robotarm.html>

soyou@job.email.ne.jp